

POC投資と大企業の意義

—大企業と協調したPOC投資のポイント—

2019年10月30日

イノベーション・エンジン株式会社

代表取締役社長 佐野 睦典



POC投資をリードする「イノベーション・エンジン」

- POCとはProof of Conceptの略で「事業性の立証」という意味です。成長段階で言うとアーリーステージとミドルステージの境界に位置し、これをクリアすることにより、そのベンチャー企業は急成長を開始します。
- POC確立後も、しばらくは赤字ですが、「製品・サービス」が確立し、「事業システム」が確信を持って運営されはじめます。
- イノベーション・エンジンは、ベンチャー企業のPOCの確立を支援し、その必要資金の調達をリードして、一気に急成長への道を切り拓きます。

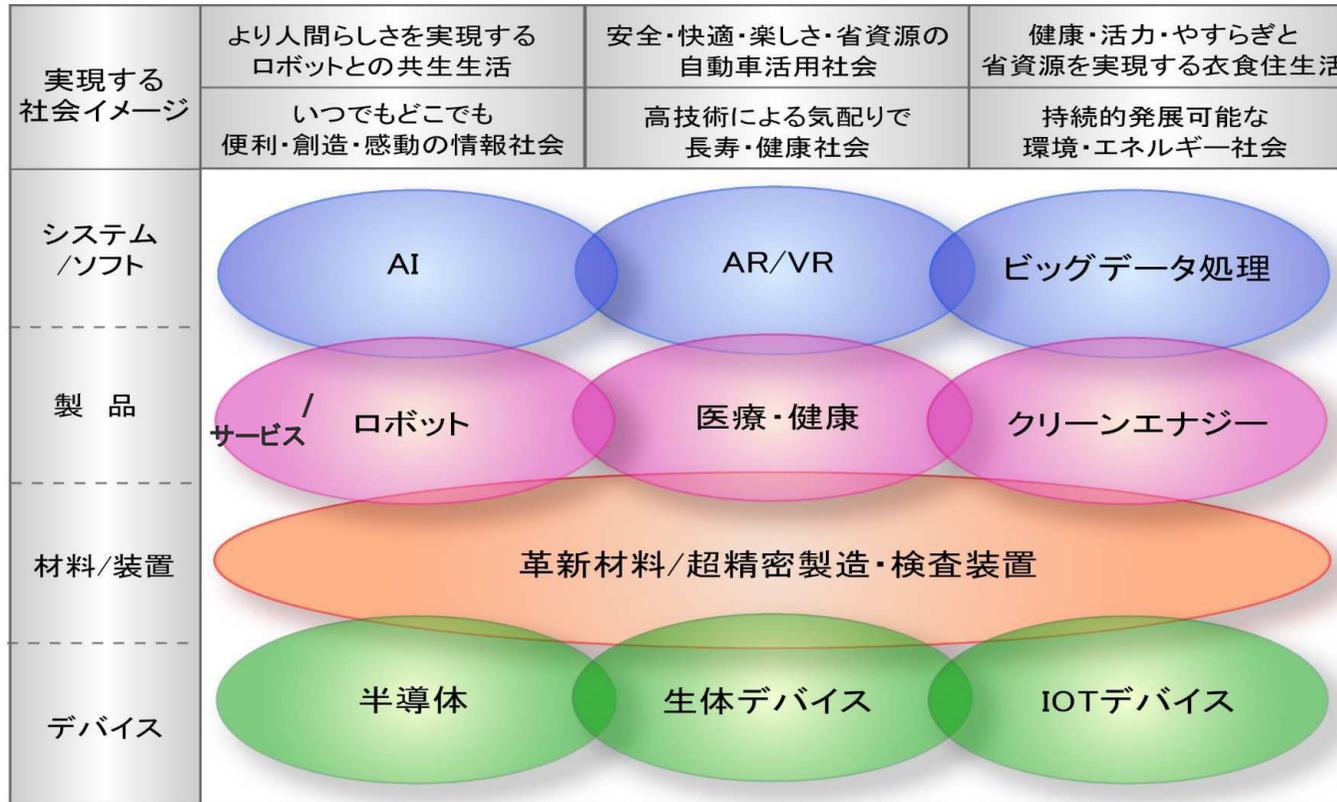


イノベーション・エンジン株式会社

- 設立年月日：2001年1月31日
- 目的： 技術を活用した産業ニューフロンティアの創出を促すエンジンの役割を果たす。
- 代表取締役 佐野 睦典
- 事業内容：
 - ・技術の事業化に投資をする「ベンチャー企業向けファンド」を組成している。これまでのファンド業の運用実績は約250億円。
 - ・また、未上場会社に加え新興の上場企業に対する投資事業も行う。
- 資本金： 1億円
- 所在地： 〒105-0014 東京都港区芝2-3-12 芝アビタシオンビル3F
- 電話／FAX： TEL 03-5730-6721 / FAX 03-5730-6722
- URL： <http://www.innovation-engine.co.jp/>

技術系ベンチャーキャピタルのパイオニア

2001年創業以来、AI、ロボット、環境・エネルギー、ネットビジネス、
 バイオ創薬、革新技術など、約100社に投資を実行



現在運営中の投資ファンド等

ベンチャーファンド

- ◆ テクノロジー系
ゼネラルファンド
合計 90億円
- ◆ ターゲットファンド
合計 10億円

投資助言業

- ◆ 大手電子商社CVC
助言額 50億円

※ 現在、数社の大手企業とCVC設立
の話し合いを進めている

- ◆ 新興市場上場株ファンド・運用
合計 20億円

上場株ファンド

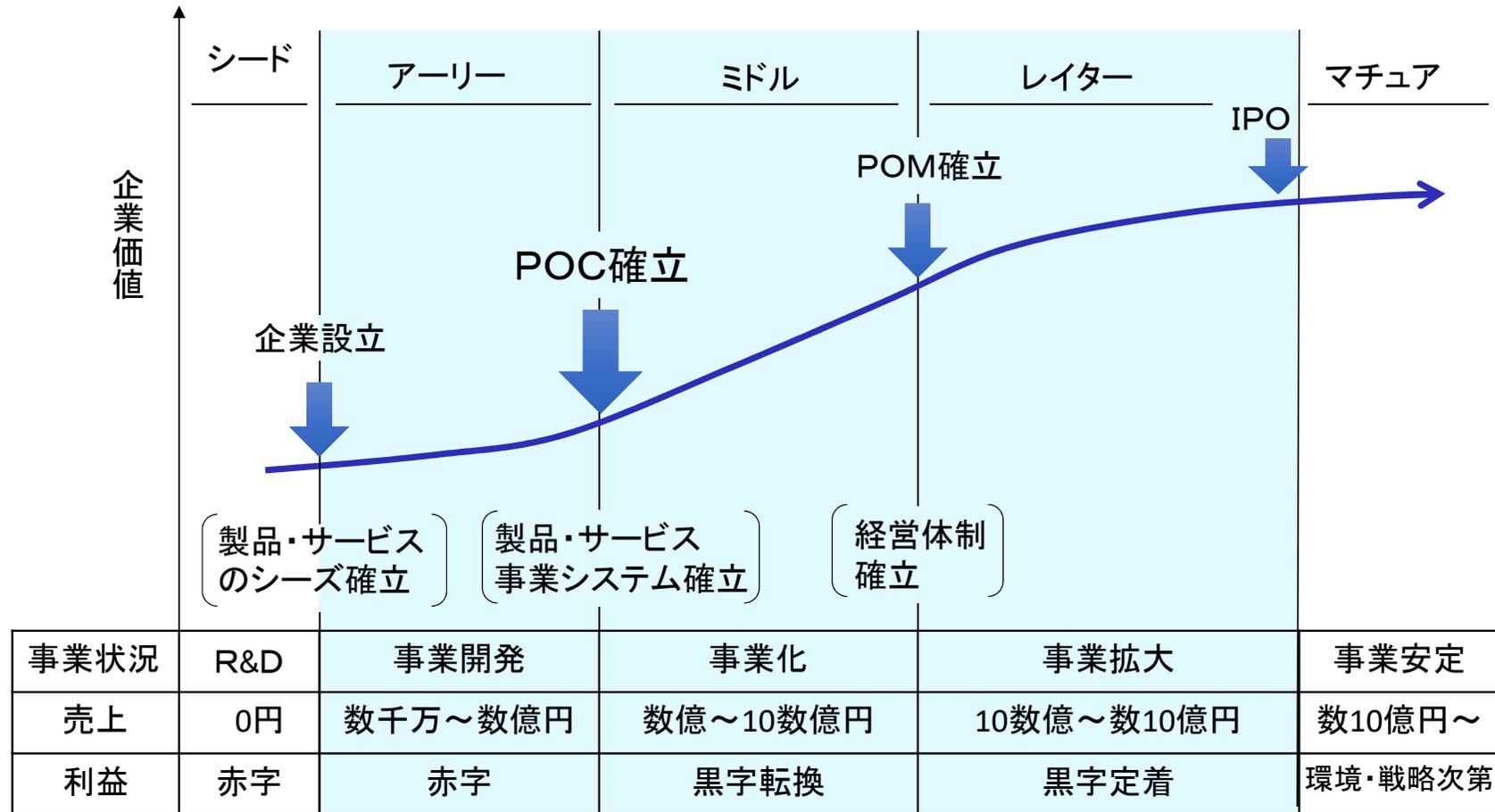
卓越した投資パフォーマンス

大震災(2011年3月)後の6年間で17社にファンド投資(4,000万円以上に限る)。
既に、9社のIPO実現、3社が株価上げて売却済。

No.	段階	社名	業種	出資年月	IPOor回収年月	IPOor回収期間	回収倍率	回収方法
1	P	(株)キャピタル・アセット・プランニング	金融情報処理	2011/ 8	2016/10	5年2ヶ月	5.2倍	IPO
2	P	Delta-Fly Pharma(株)	モジュラー創薬	2011/12	2018/10	6年10ヶ月	5.9倍	IPO
3	L	エンカレッジ・テクノロジー(株)	セキュリティ	2012/ 5	2013/12	1年7ヶ月	8.4倍	IPO
4	L	(株)アイネットサポート	コールセンター	2012/ 7	2016/ 7	4年	1.2倍	トレードセール
5	L	(株)メドレックス	ドラッグデリバリー	2012/ 8	2013/ 2	6ヶ月	3.2倍	IPO
6	E	インヴェンティット(株)	遠隔監視システム	2012/10	2017/ 4	4年6ヶ月	0.02倍	トレードセール
7	P	SCIVAX(株)	超精密製造装置	2012/11	2016/ 9	3年10ヶ月	1.3倍	トレードセール
8	L	(株)リボミック	遺伝子創薬	2012/11	2014/ 9	1年10ヶ月	12.1倍	IPO
9	E	(株)アルフレッドコア	動画配信システム	2012/12	2014/11	1年11ヶ月	0.1倍	会社清算
10	P	(株)ミュートス	医療情報処理	2013/ 1	2017/ 6	4年5ヶ月	1.1倍	トレードセール
11	L	オンコリスバイオファーマ(株)	ガン創薬	2013/ 7	2013/12	5ヶ月	1.1倍	IPO
12	L	イーレックス(株)	新電力	2013/12	2014/12	1年	1.9倍	IPO
13	P	ブライトパス・バイオ(株)	免疫医療	2014/ 7	2015/10	1年3ヶ月	11.4倍	IPO
14	P	北京視信源	CMOSセンサー	2015/ 4	2015/ 8	4ヶ月	交渉中	IPO
15	L	インディーメディカル	再生医療	2016/ 5	2019/3	2年10ヶ月	1.7倍	トレードセール
16	P	パスイメージング	遠隔病理診断	2016/ 8	2021/ 2(予)	5年6ヶ月(予)	-	IPO
17	P	ORTHOREBIRTH	人工骨	2016/ 9	2020/10(予)	4年2ヶ月(予)	-	IPO

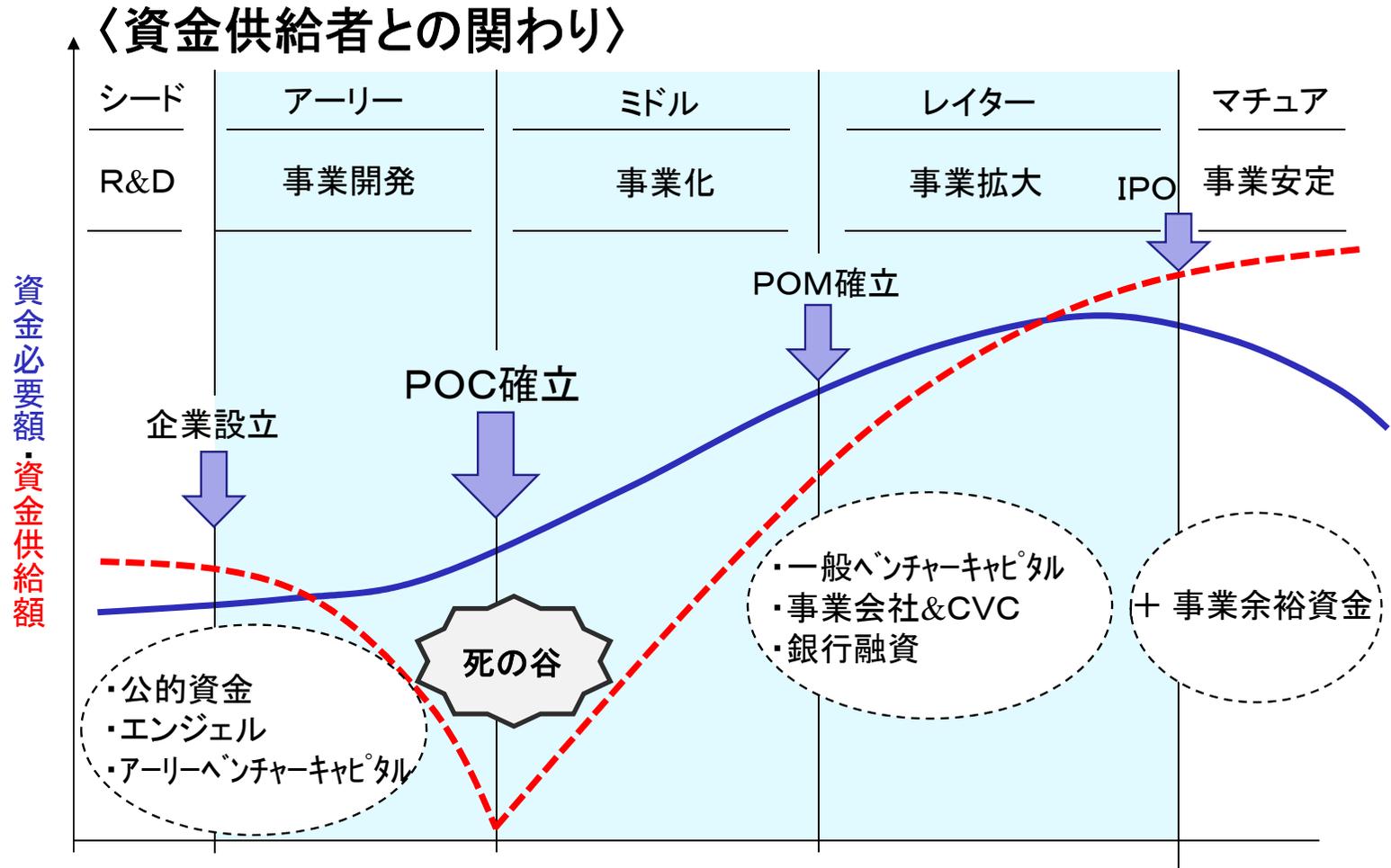
注) ■ IPOを実現した企業。 ■ 株価を上げて売却した企業。 ■ 株価を下げて売却した企業。 ■ 保有中の企業。
2011年8月～2017年5月の投資分。Delta-Fly Pharmaは公募価格で計算した。
段階の「E」はアーリー、「P」はPOC、「L」はレイター。

POCとは

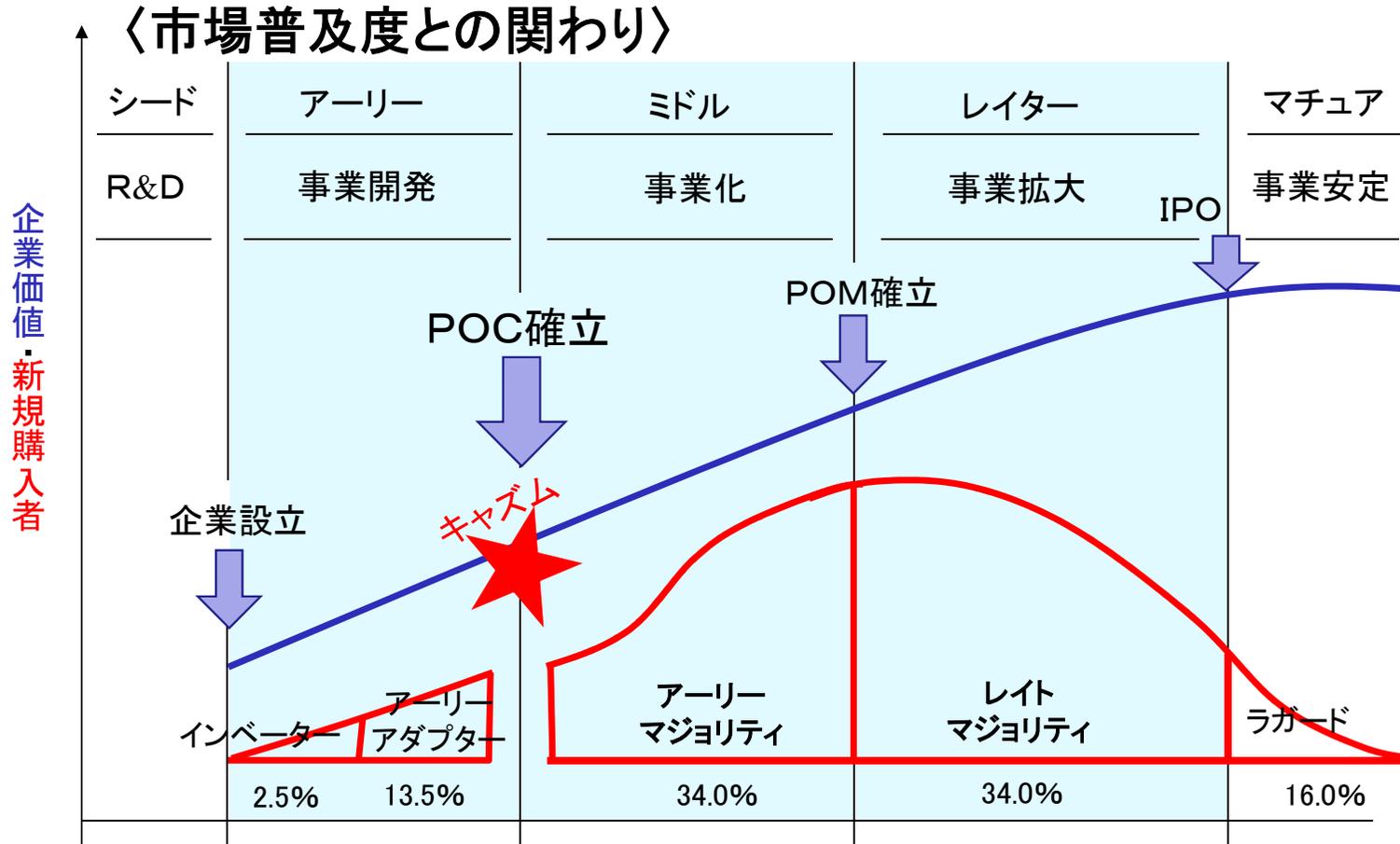


注)「事業開発」は、受託開発、カスタム生産を含む。「事業化」は、マス販売・量産を言う。
「POM」とはProof of Managementの略で「経営体制の確立」という意味である。

「死の谷」と「POC」の関係



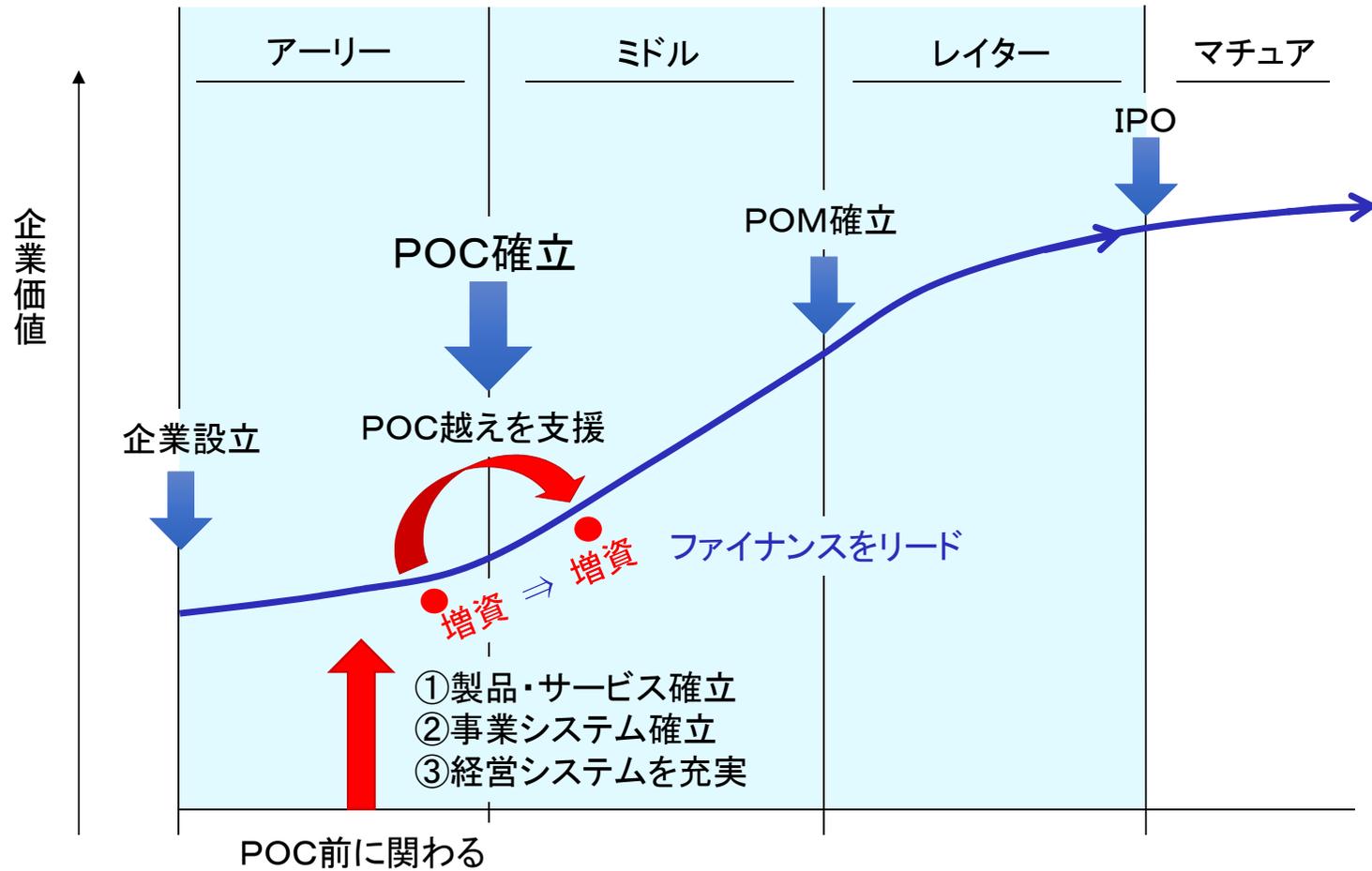
「キャズム」と「POC」の関係



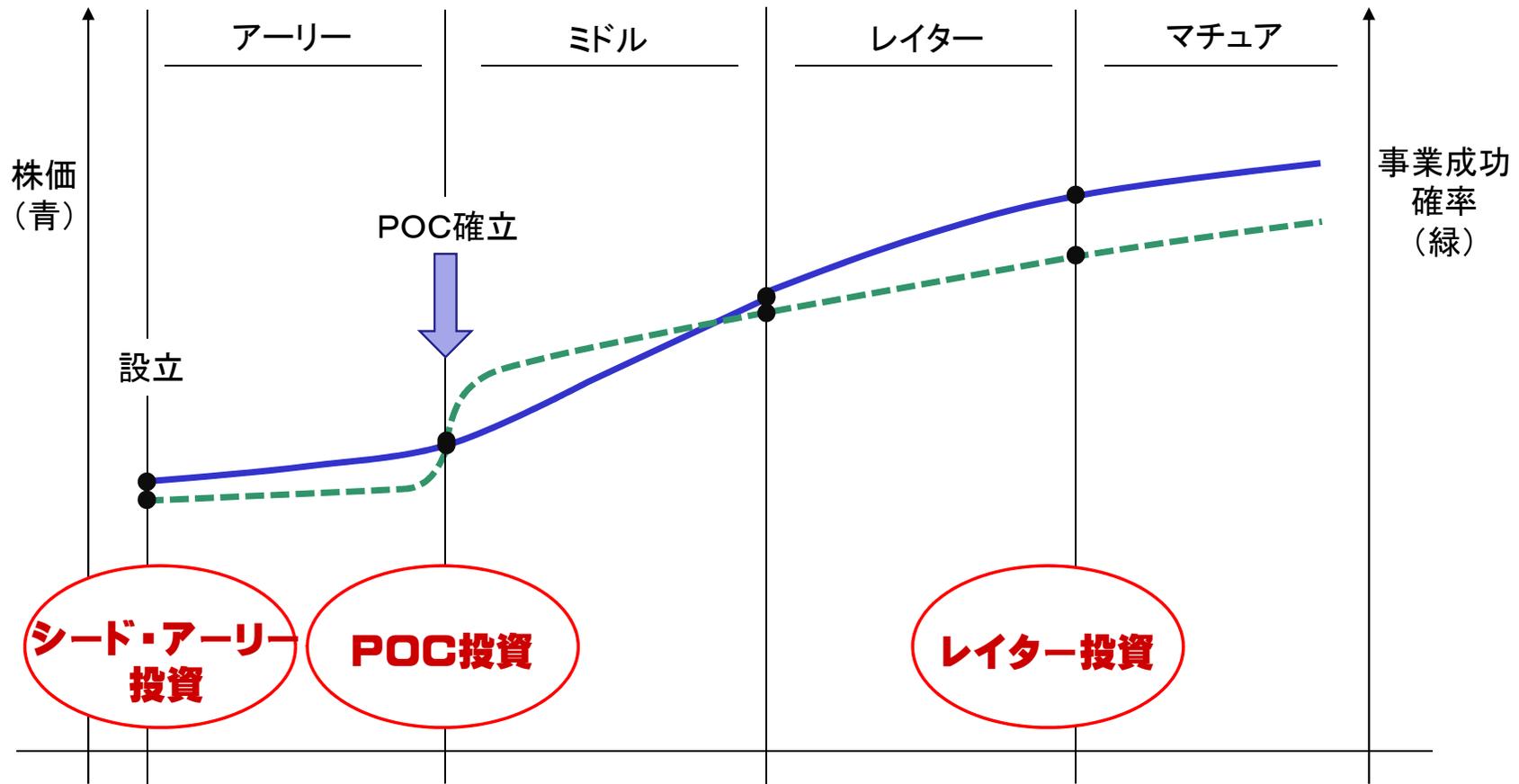
注) 新規購入者の比率については、従来の考え方(「キャズム」出版年1991年)で記載している。
 情報化が進んだ現在では、イノベーター、アーリーアダプターがかなり少ない比率(例えば合計で2~5%)
 の時にキャズムを迎え、それを越えると一気にアーリーマジョリティが参加するイメージである。

POC投資とは

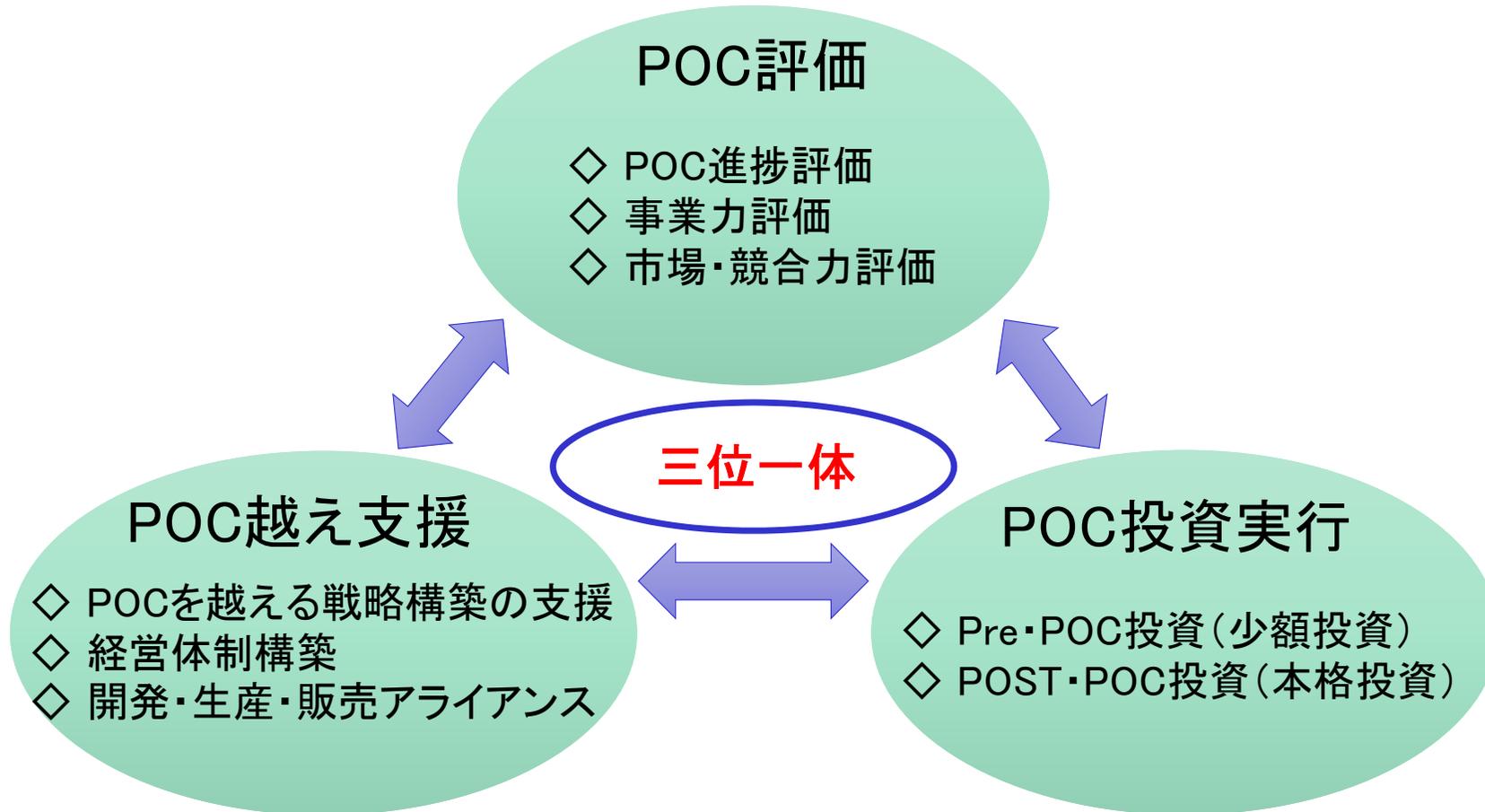
「死の谷」「キャズム」をPOC投資によって越える！



何故、特にPOC投資が重要なのか



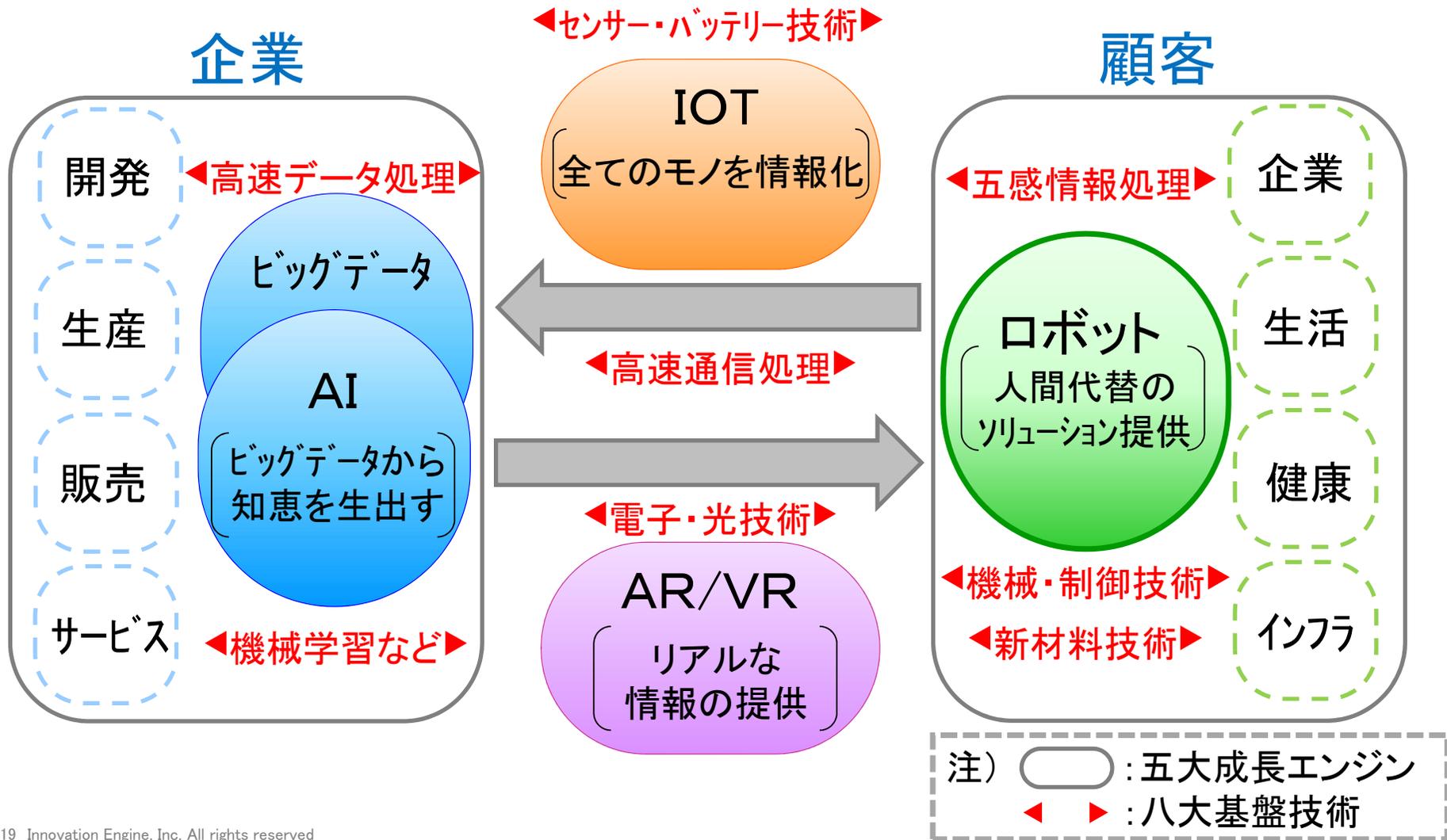
POCを越えるダイナミックな投資手法



・POC投資は「POC評価」、「POC越え支援」、「POC投資実行」が相互に影響を与え、三位一体で進行する。

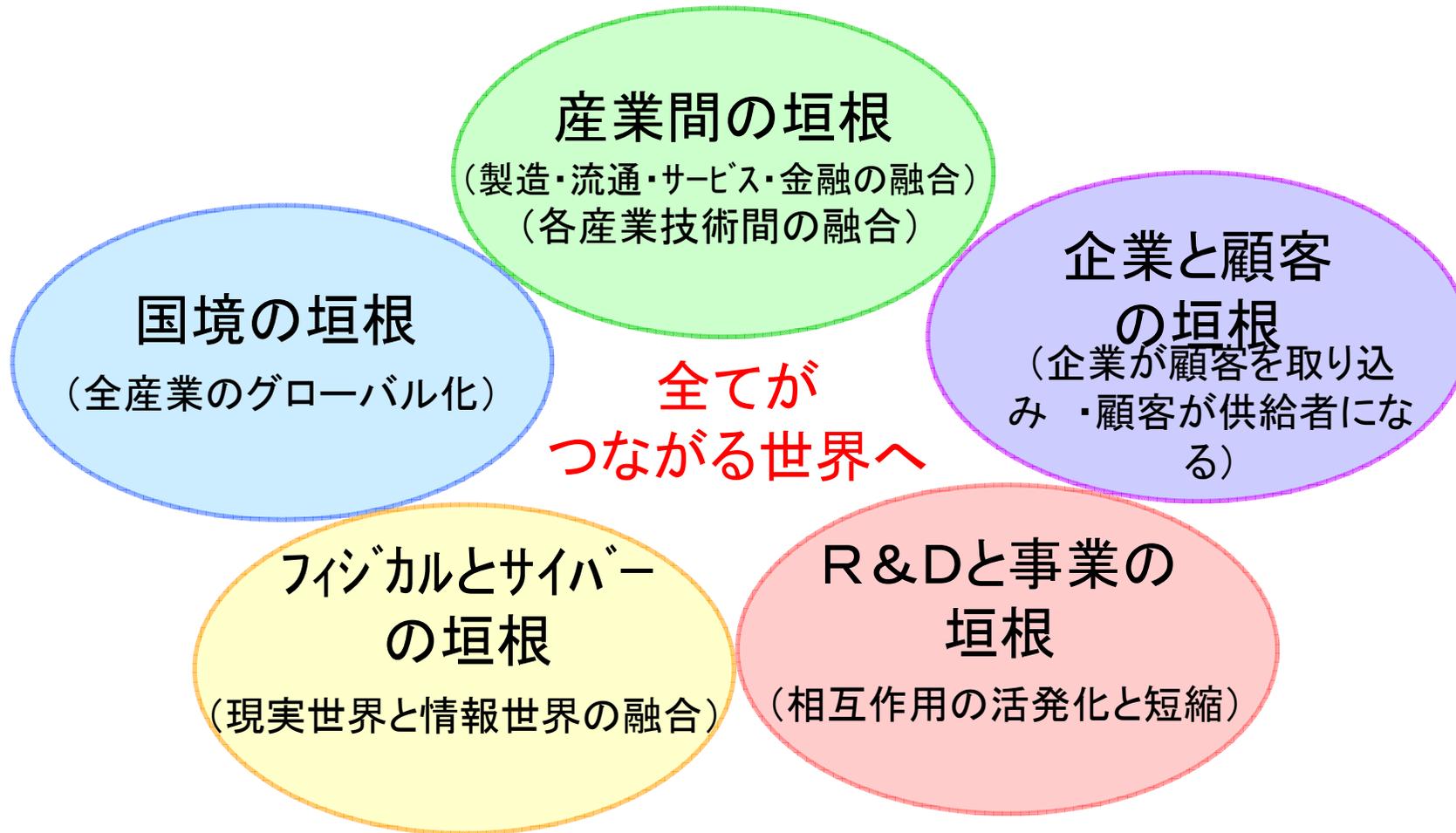
大企業がベンチャー投資を活用すべき理由

第四次産業革命をリードする五大成長エンジンと八大基盤技術





大企業がベンチャー投資を活用すべき理由 第四次産業革命の5つの垣根がなくなる



大企業がベンチャー投資を活用すべき理由

第四次産業革命の日本企業への影響

チャンス

- ①日本企業が得意な通信・電子・光・機械・材料・技術などの重要度が高く、グローバル優位性を高める絶好のチャンスである。
- ②第四次産業革命により「新産業・新事業」が相次いで生まれるため、大いなるビジネスチャンスである。

チャレンジ

- ①第四次産業革命により生まれる「新産業・新事業」は、事業デザインが重要で、大企業カルチャーや経営資源にそぐわないことが多い。
- ②第四次産業革命は急速に展開するため、スピード、コミットメントが必要で、日本企業の組織原理とバッティングすることが多い。
- ③「起業家」の多くは大企業の外で活躍していることが多い。

チャンスを取込み、チャレンジを克服する

POC投資の大企業にとっての意義

	ベンチャー企業			大企業
	シード・アーリー	POC	レイター	
ビジョンとエネルギーある事業家	◎	◎	○	△
斬新な技術・製品アイデア	◎	◎	○	△
製品開発・生産力	×	△	○	◎
顧客・信用力	×	△ (キャズム)	○	◎
成長資金	×	× (死の谷)	○	◎
大企業にとっての意義	<ul style="list-style-type: none"> 失敗確率高い 抱き込むリスク 	<ul style="list-style-type: none"> 適正株価で成功確率向上 緊密な関係可能 	<ul style="list-style-type: none"> 株価が割高 すでに大企業の関わり 	

大企業のCVC戦略 ベンチャー企業との共創関係

ベンチャー企業との関わり方

◇ベンチャー企業への投資後の関係においては、「ベンチャー企業」の有する事業ポテンシャルを最大限に伸ばすことを最優先で考える

ベンチャー企業の強味の尊重

◇特に、「ベンチャー」の強みである、①事業デザイン力、②コア技術力、③事業コミットメント・推進力、④当該分野での人材ネットワーク、を伸ばすため、基本的に、自立的な経営展開を重視する

上場会社の強味のフル活用

◇「上場企業」は、その強味である①事業プラットフォーム（開発、生産、販売、サービス体制）、②ブランド力、③財務力、④人材資源、などを積極的に提供・支援する

ベンチャー企業への投資方法

◇「上場企業」は、当初から過半数あるいは影響ある株式持ち分を必ずしも求める必要はない。上場企業にとっての戦略的重要性とベンチャー企業とのシナジーに応じて、柔軟に株式持分や人材投入比率を決めてゆく

日米のVC業界の違い

- ◇米国では上場企業のCVCが成熟しており、自社運営するケースは多い。VC業界が成熟化し、VCとCVC間のキャピタリストの移動も頻繁にある
- ◇日本では、VC業界が米国に比べて小さく、キャピタリストの数も限られる。また、上場企業のCVCも立ちあがって間もないところが多い

イノベーション・エンジン社の優位性

- ◇イノベーション・エンジンは、独立系の技術系ベンチャーキャピタルのパイオニアであり、投資経験と事業歴の豊かなキャピタリストが集まっている

上場会社のCVC実施におけるご提案

- ◇その点で、上場企業がCVCを実施するに当たって直面する以下のような課題に対して、的確に対応ができる。
 - ・案件発掘ソース
 - ・ベンチャー企業の評価
 - ・ベンチャー企業の経営体制の確立と自立化サポート
 - ・上場企業とベンチャー企業の間立った利害調整
 - ・上場企業の人事異動によるベンチャーとの継続性の課題への対応 など

ご清聴ありがとうございました

イノベーション・エンジン株式会社
東京都港区芝2-3-12芝アビタシオンビル3F
TEL: 03-5730-6721
Mail: hpcontact1@innovation-engine.co.jp
URL: <http://www.innovation-engine.co.jp/>